

相模原市立市民福祉会館条例施行規則

昭和 5 6 年 1 月 1 5 日

規則第 1 号

改正 昭和 5 7 年 4 月 1 5 日規則第 3 6 号

昭和 5 8 年 3 月 2 5 日規則第 8 号

昭和 6 1 年 1 0 月 1 日規則第 5 3 号

平成 6 年 9 月 3 0 日規則第 4 7 号

平成 8 年 1 月 3 1 日規則第 7 号

平成 8 年 1 2 月 1 9 日規則第 5 6 号

平成 9 年 1 2 月 2 4 日規則第 6 3 号

平成 1 2 年 1 月 1 4 日規則第 2 号

平成 1 2 年 1 0 月 1 日規則第 1 1 3 号

平成 1 3 年 3 月 2 3 日規則第 1 4 号

平成 1 5 年 3 月 1 4 日規則第 2 7 号

平成 1 7 年 2 月 1 日規則第 9 号

平成 1 7 年 6 月 3 0 日規則第 6 0 号

平成 1 9 年 2 月 9 日規則第 1 2 号

平成 2 4 年 1 0 月 3 1 日規則第 1 0 6 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、相模原市立市民福祉会館条例(昭和 5 5 年相模原市条例第 2 8 号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(一部改正〔平成 1 2 年規則 2 号〕)

(利用の手続)

第 2 条 相模原市立あじさい会館(以下「あじさい会館」という。)の大和室、第 1 和室、談話室、第 2 和室及び第 3 和室並びに相模原市立あじさい会館南分室(以下「南分室」という。)及び相模原市立あじさい会館緑分室(以下「緑分室」という。)の高齢者交流室、談話室及び情報交換ルーム(午前 9 時から午後 5 時までの間の利用に限る。以下これらを「福祉利用施設」という。)並びにあじさい会館、南分室及び緑分室のボランティア活動室を利用しようとする者は、その都度申し出て承

認を受けなければならない。ただし、あじさい会館の大和室、第 1 和室、第 2 和室及び第 3 和室並びに南分室及び緑分室の高齢者交流室及び情報交換ルームを団体で利用しようとするものは、相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)利用承認申請書(以下「あじさい会館(南分室・緑分室)利用承認申請書」という。)を指定管理者に提出しなければならない。

2 あじさい会館の大和室、第 1 和室、第 2 和室及び第 3 和室並びに南分室及び緑分室の高齢者交流室及び情報交換ルーム(午後 6 時から午後 10 時までの間の利用に限る。)並びにあじさい会館のホール、第 1 展示室、第 2 展示室、研修室及び講習室(以下これらを「一般利用施設」という。)を利用しようとするものは、あじさい会館(南分室・緑分室)利用承認申請書を指定管理者に、相模原市立あじさい会館城山分室(以下「城山分室」という。)の施設(和室、運動室、第 1 会議室及び第 2 会議室をいう。以下同じ。)を利用しようとするものは、相模原市立あじさい会館城山分室利用承認申請書(以下「城山分室利用承認申請書」という。)を市長に提出しなければならない。

3 指定管理者は、あじさい会館(南分室・緑分室)利用承認申請書に、市長は、城山分室利用承認申請書に必要書類を添付させることができる。

4 あじさい会館(南分室・緑分室)利用承認申請書及び城山分室利用承認申請書は、別表に定める受付期間内(城山分室においては、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「土曜日等」という。)を除く。)に提出しなければならない。ただし、公用のためあじさい会館の施設(ボランティア活動室を除く。)、南分室の施設(ボランティア活動室を除く。)若しくは緑分室の施設(ボランティア活動室を除く。)を利用する場合において指定管理者が必要と認めて市長の承認を得たとき、又は城山分室の施設を利用する場合において市長が認めたときは、この限りでない。

5 前項本文の規定にかかわらず、指定管理者があじさい会館の運営上支障がないと認めて市長の承認を得たときは、前項の受付期間経過後であつても、あじさい会館のホールの利用承認申請を行うことができる。

6 条例第 3 条第 6 項に規定する市長が定める期日は、利用日の 1 月前とする。

(一部改正〔昭和 58 年規則 8 号・平成 8 年 5 6 号・10 年 6 3 号・12 年

2号・17年9号・60号・19年12号・24年106号〕)

第3条 指定管理者は、あじさい会館(南分室・緑分室)利用承認申請書の提出があつた場合において、その利用を承認するときは相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)利用承認書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

2 市長は、城山分室利用承認申請書の提出があつた場合において、その利用を承認するときは相模原市立あじさい会館城山分室利用承認書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

3 前2項の規定による利用の承認は、申請の順序によりこれを行い、申請が同時の場合は、協議又は抽選によりこれを決定するものとする。

4 第1項又は第2項の規定により利用の承認を受けたものは、利用の際、相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)利用承認書又は相模原市立あじさい会館城山分室利用承認書を携帯し、係員の要求があつたときは、直ちに提示しなければならない。

(一部改正〔平成8年規則56号・10年63号・12年2号・17年9号・60号・19年12号・24年106号〕)

(利用料金の納付時期)

第4条 利用料金は、利用の承認を受けると同時に納付しなければならない。

2 条例第9条第3項ただし書に規定する規則で定める場合とは、国又は地方公共団体が利用するときその他指定管理者が特に必要があると認めたときとする。

(一部改正〔平成12年規則2号・15年27号・17年60号〕)

(利用料金の減免)

第5条 条例第10条の規定による利用料金の減免は、入場料その他これに類する料金を徴収しない行事等であつて、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

(1)市内の社会福祉施設(社会福祉法(昭和26年法律第45号)第2条に規定する社会福祉事業を目的として設置された市立以外の施設をいう。)が直接当該施設の入所者又は利用者を対象とする行事等のために利用するとき。 50パーセント

- (2) 市行政と密接な関係を有し、又は市が指導育成を行うことを必要とする社会福祉活動若しくは芸術、文化活動を行う団体がその目的のために利用するとき。 50パーセント
 - (3) 市が主催する社会福祉を推進するための事業のために利用するとき。 50パーセント
 - (4) 国又は県が主催する社会福祉を推進するための事業のために利用するとき。 50パーセント
 - (5) 市が共催する社会福祉を推進するための事業のために利用するとき。 50パーセント
 - (6) 指定管理者が条例第 2 4 条の規定により行う同条第 7 号の事業のために利用するとき。 100パーセント
 - (7) 指定管理者が特に必要があると認め、市長の承認を得たとき。 市長の承認を得て指定管理者が定める率
- 2 前項の規定により利用料金の減免を受けようとする一般利用施設の利用の承認を受けたもの(以下「利用承認者」という。)は、相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)利用料金減免申請書を指定管理者に提出しなければならない。
- 3 指定管理者は、前項の規定による申請書の提出があつた場合において、利用料金を減免するときは相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)利用料金減免決定通知書により、減免しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成 8 年規則 5 6 号・12 年 2 号・113 号・15 年 27 号・17 年 9 号・60 号・19 年 12 号・24 年 106 号〕)

(利用料金の還付)

第 6 条 条例第 11 条ただし書の規定による利用料金の還付は、次の各号に掲げる場合に、当該各号に定める率により行う。

- (1) 災害その他利用承認者の責めによらない理由により利用できなかつたとき。
既納利用料金の 100パーセント
- (2) 利用日の 30 日(あじさい会館のホールにあつては、90 日)前までにあじさい会館、南分室及び緑分室の利用の取消し(利用日又は利用施設を変更する場合における従前の利用日又は利用施設の利用の取消し及び複数の利用単位を継

続して利用する場合における一部の利用単位の取消しを含む。以下同じ。)の申請をし、指定管理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の80パーセント

(3) 利用日の7日(あじさい会館のホールにあつては、30日)前までにあじさい会館、南分室及び緑分室の利用の取消しの申請をし、指定管理者の承認を受けたとき。 既納利用料金の50パーセント

(4) 次条の規定により承認された事項の変更の承認を受け、既納利用料金が過納となつたとき。 既納利用料金のうち過納額の100パーセント

2 前項の規定により既納利用料金の還付を受けようとする利用承認者は、相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)利用料金還付申請書を指定管理者に提出しなければならない。

3 指定管理者は、前項の規定による申請書の提出があつた場合において、既納利用料金を還付するときは相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)利用料金還付決定通知書により、還付しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(一部改正〔平成8年規則56号・12年2号・17年9号・60号・19年12号・24年106号〕)

(取消し又は変更の手続)

第7条 条例第7条第1項の規定により利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)は、利用の取消し又は承認された事項の変更(以下「承認事項変更」という。)をしようとするときは、あじさい会館、南分室又は緑分室に係る承認事項変更にあつては相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)利用承認取消(変更)申請書を指定管理者に、城山分室に係る承認事項変更にあつては相模原市立あじさい会館城山分室利用承認取消(変更)申請書を市長に提出しなければならない。

2 指定管理者は、前項の規定による申請書の提出があつた場合(城山分室の施設の利用に係る場合を除く。)において、利用の取消し又は承認事項変更を承認するときは相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)利用承認取消(変更)決定通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。この場合において、承認事項変更の承認により既納利用料金に不足を生じたときは、当該不足分を直ちに納付させなければならない。

3 市長は、第1項の規定による申請書の提出があつた場合(城山分室の施設の利用

に係る場合に限る。)において、利用の取消し又は承認事項変更を承認するときは相模原市立あじさい会館城山分室利用承認取消(変更)決定通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(追加〔平成１２年規則２号〕、一部改正〔平成１７年規則９号・６０号・１９年１２号・２４年１０６号〕)

(利用時間)

第８条 利用の承認を受けた時間(以下「利用時間」という。)は、準備又は後始末に要する時間を含むものとする。

(一部改正〔平成１２年規則２号・１７年９号・６０号〕)

(利用時間延長等の手続)

第９条 一般利用施設を利用するものが利用時間を延長し、又は繰り上げて利用しようとするときは、当該利用するものは、利用時間終了又は利用時間開始の１時間前(午前の利用単位に係る繰上げにあつては、３０分前)までに、相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)利用時間延長等承認申請書に、利用承認通知書及び承認事項変更の承認を受けている場合は利用承認取消(変更)決定通知書を添えて、指定管理者に提出しなければならない。

２ 指定管理者は、前項の申請書の提出があつた場合において、利用時間の延長又は繰上げを承認するときは相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)利用時間延長等承認書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。この場合において、利用時間の延長又は繰上げを承認したときは、当該延長又は繰上げの時間に係る利用料金(以下「延長等に係る利用料金」という。)を直ちに納付させるものとする。

３ 利用時間の延長及び繰上げは、１時間を限度とする。

(追加〔平成１２年規則２号〕、一部改正〔平成１７年規則９号・６０号・１９年１２号・２４年１０６号〕)

(特別な設備等の承認)

第１０条 条例第１４条の規定により特別な設備等の承認を受けようとするものは、相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)特別設備等承認申請書を指定管理者に提出しなければならない。

- 2 指定管理者は、前項の申請書の提出があつた場合において、特別な設備等を承認するときは相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)特別設備等承認決定通知書により、承認しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(追加〔平成12年規則2号〕、一部改正〔平成17年規則60号・19年12号・24年106号〕)

(販売行為等の許可)

第11条 条例第16条ただし書の規定により販売行為等の許可を受けようとするものは、あじさい会館、南分室又は緑分室における許可を受けようとする場合にあつては相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)販売行為等許可申請書を指定管理者に、城山分室における許可を受けようとする場合にあつては相模原市立あじさい会館城山分室販売行為等許可申請書を市長に提出しなければならない。

- 2 指定管理者は、前項の申請書(城山分室に係るものを除く。)の提出があつた場合において、販売行為等を許可するときは相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室)販売行為等許可決定通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

- 3 市長は、第1項の申請書(城山分室に係るものに限る。)の提出があつた場合において、販売行為等を許可するときは相模原市立あじさい会館城山分室販売行為等許可決定通知書により、許可しないときはその旨を申請者に通知するものとする。

(全部改正〔平成12年規則2号〕、一部改正〔平成17年規則9号・60号・19年12号・24年106号〕)

(利用の打合せ)

第12条 あじさい会館、南分室又は緑分室の利用者は、指定管理者が必要と認めるときは、事前に係員と利用方法その他必要な事項について打ち合わせなければならない。

(一部改正〔平成12年規則2号・17年60号・19年12号・24年106号〕)

(整理員の配置)

第13条 あじさい会館、南分室又は緑分室の利用者は、指定管理者が必要と認め

るときは、秩序保持のため整理員を置かなければならない。

(一部改正〔平成１２年規則２号・１７年６０号・１９年１２号・２４年１０６号〕)

(遵守事項)

第１４条 あじさい会館、南分室、緑分室又は城山分室(以下「会館」という。)を利用するもの(第２号から第８号までにおいて、利用目的に応じて入館した者を含む。)は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (１) 定員を超えて入場させないこと。
- (２) 承認された以外の施設、附属設備等を利用しないこと。
- (３) 壁、柱、窓等にはり紙し、又はくぎ類を打ち込まないこと。
- (４) 許可なく会館の器具等を会館外へ持ち出さないこと。
- (５) 指定場所以外において喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (６) 危険物又は不潔物を持ち込まないこと。
- (７) 騒音、怒声等を発し、又は暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (８) 係員の指示に従うこと。

(一部改正〔平成１２年規則２号・１７年６０号・１９年１２号・２４年１０６号〕)

(職務上の入場)

第１５条 利用者は、係員の職務上の入場を拒むことができない。

(一部改正〔平成１２年規則２号・１７年６０号〕)

(損傷等の届出)

第１６条 あじさい会館、南分室又は緑分室の建物、附属設備等を損傷し、又は滅失させた者は、文書により指定管理者に届け出なければならない。

(一部改正〔平成１２年規則２号・１７年６０号・１９年１２号・２４年１０６号〕)

(利用後の点検)

第１７条 利用者は、施設の利用を終了したときは、直ちにその旨を係員に告げ、点検を受けなければならない。

(一部改正〔平成12年規則2号・17年60号〕)

(城山分室における準用)

第18条 第12条、第13条及び第16条の規定は、城山分室の管理及び運営について準用する。この場合において第12条、第13条及び第16条中「あじさい会館、南分室又は緑分室」とあるのは「城山分室」と、「指定管理者」とあるのは「市長」と読み替えるものとする。

(追加〔平成19年規則12号〕、一部改正〔平成24年規則106号〕)

(様式)

第19条 この規則の規定により使用する書式の様式は、別に定める。

(追加〔平成19年規則12号〕)

(委任)

第20条 この規則に定めるもののほか、会館の管理運営について必要な事項は、別に定める。

(一部改正〔平成8年規則56号・12年2号・17年60号・19年12号〕)

附 則

この規則は、条例の施行の日から施行する。ただし、第4条、第5条(第1項本文を除く。)及び第25条並びに別表第1第1号の表及び第2号の表社会福祉団体等の欄に係る部分の規定は昭和56年1月20日から、別表第1第2号の表一般の欄及び市外居住者の欄に係る部分の規定は同年3月2日から施行する。

附 則(昭和57年4月15日規則第36号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和58年3月25日規則第8号)

- 1 この規則は、昭和58年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の相模原市立市民福祉会館条例施行規則(以下「改正後の規則」という。)第2条第1号ただし書の規定並びに第5条第2項及び別表第1第2号の表の規定(和室に関する部分に限る。)は、昭和58年10月1日以後に和室を使用する者から適用し、同日前に和室を使用する者については、なお従前の例による。

- 3 改正後の規則別表第2の規定は、昭和58年10月1日以後の付属設備又は器具の使用に係る使用料から適用し、同日前の付属設備又は器具の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(昭和61年10月1日規則第53号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成6年9月30日規則第47号)

この規則は、平成6年10月1日から施行する。

附 則(平成8年1月31日規則第7号)

- 1 この規則は、平成8年2月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の日前に貸出しを受けたビデオテープに係る貸出数及び貸出期間については、なお従前の例による。

附 則(平成8年12月19日規則第56号)

- 1 この規則は、平成9年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第2の規定は、平成9年10月1日以後の使用に係る使用料から適用し、同日前の使用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成9年12月24日規則第63号)

この規則は、平成10年1月1日から施行する。

附 則(平成12年1月14日規則第2号)

- 1 この規則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、第3条の改正規定及び次項の規定は、公布の日から施行する。
- 2 改正後の第3条の規定は、平成12年4月1日以後の利用について適用し、同日前の利用については、なお従前の例による。
- 3 改正後の第7条及び別表第2の規定は、平成12年10月1日以後の利用に係る使用料について適用し、同日前の利用に係る使用料については、なお従前の例による。
- 4 改正後の第9条第1項の規定は、平成12年9月1日以後の利用に係る使用料の還付について適用し、同日前の利用に係る使用料の還付については、なお従前の例による。
- 5 この規則の施行の際現に改正前の相模原市立市民福祉会館条例施行規則の規定

により定められた様式の手紙が残存するときは、当該手紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(平成12年10月1日規則第113号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年3月23日規則第14号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成15年3月14日規則第27号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成17年2月1日規則第9号)

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現に改正前の相模原市立市民福祉会館条例施行規則の規定により定められた様式の手紙が残存するときは、当該手紙が残存する間、所要の修正をして使用することができる。

附 則(平成17年6月30日規則第60号)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 この規則による改正後の相模原市立市民福祉会館条例施行規則(以下「新規則」という。)の規定(新規則第5条の規定を除く。)は、平成18年4月1日以後の相模原市立市民福祉会館の管理について適用し、同日前の相模原市立市民福祉会館の管理については、なお従前の例による。
- 3 新規則第5条の規定は、平成18年4月1日以後に行う利用料金の減免について適用し、同日前に行う利用料金の減免については、なお従前の例による。

附 則(平成19年2月9日規則第12号)

この規則は、平成19年3月11日から施行する。

附 則(平成24年10月31日規則第106号)

(施行期日)

- 1 この規則は、平成25年3月18日から施行する。ただし、別表第2号の表の改正規定(同表に次のように加える改正規定を除く。)は、平成25年5月1日から施行する。

(経過措置)

2 平成25年3月31日までの間においては、この規則による改正後の第2条第1項中「あじさい会館、南分室及び緑分室のボランティア活動室」とあるのは「あじさい会館及び南分室のボランティアセンター並びに緑分室のボランティア活動室」とし、同条第4項中「(ボランティア活動室を除く。)、南分室の施設(ボランティア活動室を除く。)」とあるのは「(ボランティアセンターを除く。)、南分室の施設(ボランティアセンターを除く。)」とする。

3 平成25年4月30日までの間においては、この規則による改正後の第2条第1項中「午後5時」とあるのは「午後4時(緑分室の高齢者交流室、談話室及び情報交換ルームにおいては、午後5時)」とし、同条第2項中「午後6時」とあるのは「午後5時(緑分室の高齢者交流室及び情報交換ルームにおいては、午後6時)」とし、別表第1号の表中「利用の日」とあるのは「利用の日(あじさい会館及び南分室においては、利用日前3日)」とし、同表備考1中「始期」とあるのは「始期(あじさい会館及び南分室においては、始期又は終期)」とする。

別表(第2条関係)

(一部改正〔昭和58年規則8号・平成12年2号・113号・17年9号・60号・19年12号・24年106号〕)

(1) 福祉利用施設を団体で利用する場合の受付期間

始期	終期
利用日前6月	利用の日

備考

1 始期が休館日に当たるときは、その直後の開館日を当該始期とする。

2 引き続き2日以上利用する場合は、その最初の日を利用日とする。

(2) 一般利用施設を利用する場合の受付期間

申請区分			市内居住者				市外居住者	
			社会福祉団体等		一般			
			始期	終期	始期	終期	始期	終期
あじさい 会館	ホールの 利用承認	ホール	利用日前 6 月	利用日前 1 0 日	利用日前 5 月	利用日前 1 0 日	利用日前 2 月	利用日前 1 0 日
	申請	舞台のみ	利用日前	利用日前	利用日前	利用日前	利用日前	利用日前

	の使用	1 月(仕 3 日 込みのため利用する ときは、ホール利用承認申請の日)		1 月(仕 3 日 込みのため利用する ときは、ホール利用承認申請の日)		1 月(仕 3 日 込みのため利用する ときは、ホール利用承認申請の日)	
	ホールの附属設備及び器具の利用承認申請	ホール利用承認申請の日	利用の日	ホール利用承認申請の日	利用の日	ホール利用承認申請の日	利用の日
	大和室、第 1 和室、第 2 和室及び第 3 和室(午後 6 時から午後 10 時までの間の利用に限る。)並びに第 1 展示室、第 2 展示室、講習室及び研修室の利用承認申請	利用日前 6 月	利用の日	利用日前 5 月	利用の日		
	第 1 展示室及び第 2 展示室の器具の利用承認申請	第 1 展示室又は第 2 展示室の利用承認申請の日	利用の日	第 1 展示室又は第 2 展示室の利用承認申請の日	利用の日		
南分室	高齢者交流室及び情報交換ルーム(午後 6 時から午	利用日前 6 月	利用の日	利用日前 5 月	利用の日		

	後 10 時までの間の利用に限る。)の利用承認申請						
城山分室	和室、運動室、第 1 会議室及び第 2 会議室の利用承認申請	利用日前 6 月(土曜日等にあつては、当該土曜日等の直後の土曜日等でない開館日)	利用の日 (土曜日等にあつては、当該土曜日等の直後の土曜日等でない開館日)	利用日前 5 月(土曜日等にあつては、当該土曜日等の直後の土曜日等でない開館日)	利用の日 (土曜日等にあつては、当該土曜日等の直後の土曜日等でない開館日)		
緑分室	高齢者交流室及び情報交換ルーム(午後 6 時から午後 10 時までの間の利用に限る。)の利用承認申請	利用日前 6 月	利用の日	利用日前 5 月	利用の日		

備考

- 1 社会福祉団体等とは、第 5 条第 1 項第 1 号に規定する施設及び同項第 2 号に規定する団体をいう。
- 2 一般とは、社会福祉団体等以外のものをいう。
- 3 始期又は終期(終期が利用の日である場合を除く。)が休館日に当たるときは、その直後の開館日を当該始期又は終期とする。
- 4 引き続き 2 日以上利用する場合は、その最初の日を利用日とする。